

救急室を受診される患者様・ご家族の皆様へ

お子様の急な病気、不安な夜を
「安全・安心」に過ごすための
新たな選択肢「オンライン診療」

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

夜間や休日の急な発熱や体調不良。とても心配なことと思います。
当院では、皆様に適切な医療をスムーズに提供できるよう、
新しい取り組みを始めました。
受診の前に、ぜひ一度ご確認ください。

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター



新たな選択肢

「オンライン診療（キッズドクター）」

南部医療センター・こども医療センターでは
スマートフォンやタブレットを使ったオンライン診療と
連携を開始しました。

「病院に行かずに、自宅で医師の診察を受ける」

長い待ち時間や感染リスクを避け、
安心して医師に相談できる新しい受診スタイルです。



オンライン診療の3つのメリット

01



待ち時間が短い

病院の待合室で何時間も待つ必要はありません。ご自宅でリラックスして診察を待つことができます。

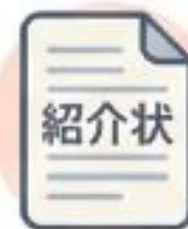
02



感染リスクゼロ

他の患者様と接することがないため、インフルエンザなどの二次感染の心配がありません。

03



必要なら紹介状を発行

オンライン医師が「対面診察や検査が必要」と判断した場合は、紹介状を作成します。紹介状があれば、南部医療センター等の救急外来をスムーズに受診できます。



紹介状



救急外来
(南部医療センターなど)

ご利用の流れ（簡単4ステップ）



1. アプリを取得

「キッズドクター」アプリをダウンロード、またはLINEでアクセス。



2. 問診・依頼

保険証を登録し、症状を入力して診察を依頼。



3. オンライン診察

ビデオ通話で医師が診察します（スマホやタブレットを使用）。



4. お薬の受け取り

処方箋が発行されます。お近くの薬局でお薬を受け取れます。

診療を担当する医師について



南部医療センター・
こども医療センター



キッズドクター
提携医療機関

救急外来
(重症患者の救命に集中)

オンライン診療
(軽症患者の対応)

本連携におけるオンライン診療・処方・医学的判断は、すべて「キッズドクター提携医療機関」の医師が行います。南部医療センター・こども医療センターの医師による診療ではありません。

これにより、地域の病院医師の負担を減らし、重症患者様の救命救急体制を維持することにご協力いただいています。



費用と医療費助成について

✓ 健康保険が適用されます：
通常の病院受診と同様に、保険診療です。

✓ こども医療費助成制度：
各市町村の助成制度が利用可能です。

✓ お支払い方法：

基本的にアプリを通じてクレジットカードでのお支払いです。

子供の場合は自治体の子ども医療費助成が適用

自己負担0円の場合はお支払いはありません。詳細はアプリからご確認ください。

✓ ※システム利用料や交通費はかかりません（診察料・処方箋料のみ）。





誰が・いつ利用できるの？ 誰が・いつ利用できるの？



対象エリア

沖縄本島南部周辺にお住まいの方（旅行中の方も利用可能です）。



対象年齢

主に小児（中学生まで）
※ただし、69歳までの成人の方もご利用いただけます。



診療時間

主に平日夜間・休日
受付終了：24:00（深夜0時）まで

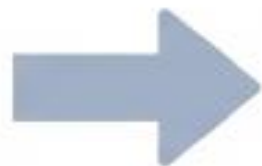


担当医師

実際の診察は「キッズドクター提携クリニック」の医師が行います。

※南部医療センター・こども医療センターが連携していますが、診察は提携医が行います。

救急室は「重症な方」が最優先です



トリアージ
(Triage)



緊急度：高 (Life Threatening)



最優先 (待ち時間なし)

緊急度：低 (Mild Symptoms)



待合室で待機 (数時間以上)

救急外来では受付順ではなく「緊急度（トリアージ）に基づいて診察順を決定しています
優先される方：命に関わる状態、すぐに処置が必要な重症患者様（1分1秒を争う方）
お待ちいただく方：検査や処置の緊急性が低いと判断された患者様
（待ち時間が数時間以上の場合もあります）

限られたスタッフで救命活動を行っているため、ご理解をお願いいたします。

軽い症状で救急室を受診する「リスク」



1. 長時間の待ち時間

重症患者様の対応が優先されるため、長時間待合室で過ごすことになり、お子様の体力を消耗させてしまいます。



2. 感染症への暴露

待合室にはインフルエンザやCOVID-19など、他の感染症の患者様もいらっしゃいます。新たな病気をもらってしまうリスクが高まります。



3. 応急処置が中心

救急外来はあくまで「救命」が目的です。お薬の処方最低限（1日分など）に限られ、専門的な検査ができない場合もあります。

軽症で受診された場合、患者様ご自身にこのようなご負担がかかる可能性があります。

これまで通り、 「病院に行くべき？」と迷った時は

すぐに受診すべきか、自宅で様子を見るか迷った際は、
以下の公的な相談窓口をご活用ください。



小児救急電話相談 #8000

看護師や医師が電話で対処法を
アドバイスします。



アクセスはこちら



小児救急ハンドブック

沖縄県小児保健協会作成のガ
イドブック。症状別の対応が
わかります。



アクセスはこちら



地域医療を守るために、賢い選択を

迷ったら

→ #8000 / 小児救急ハンドブック



軽症・夜間

→ オンライン診療（キッズドクター）



緊急・重症

→ 救急外来 / 救急車（#119）



「キッズドクター」アプリダウンロードはこちら



限られた医療資源を本当に必要な方に届けるため、皆様のご協力をお願いいたします。